



白内障手術でクリアーな視界と彩り豊かな人生を取り戻そう！

白内障の原因と症状



白内障は目の中に備わっているレンズ（水晶体）が濁ってくる病気です。水晶体は網膜にピントを合わせるためのメガネのような役割を担っており、本来は透明であったのですが、加齢に伴ってあるいは糖尿病やステロイド内服、外傷などが原因となって発症する、進行性の病気です。曇りを通して外界を見る形になるため、視力低下や霧視（霧の中にいる様にかすんで見える）が主な症状になります。まぶしく感じたり、近視や乱視が増えたりして眼鏡がどんどん合わなくなってくる等の症状がでる場合もあります。

治療は？

白内障は加齢に伴い進行する病気で、水晶体の混濁は元の透明な状態に戻すことはできないと考えられています。水晶体の混濁はタンパク質の変性に伴う混濁であり、ゆで卵の白身をゆでる前の透明な状態に戻すことができないのと同じですね。手術で濁ったレンズを綺麗な眼内レンズに交換することが、唯一の確実な効果がある治療です。点眼麻酔（目薬）をしたうえで、2 mm程度の小さな傷口から濁った水晶体を取り除き、新しい眼内レンズを元の場所に戻すという手順で行う、通常10分～15分程度で終わる手術です。

手術の手順



眼内レンズ例
6 mm×13 mm



白内障手術のメリット

1. 明るく、良く見えるようになる！
2. 厚い眼鏡やコンタクトから解放される！
3. 緑内障の予防になる！

白内障手術の デメリット

1. 明るすぎてまぶしく感じるリスク (ハロー・グレアなど)
2. 老眼・合併症のリスク
3. 後発白内障により再度視力低下が生じるリスク

白内障手術のタイミング

緑内障や眼底疾患を合併している白内障などでは出来るだけ早期の治療が必要な場合もありますが、基本的には加齢に伴い徐々に進行する慢性疾患ですので、手術治療の時期はご都合と症状の強さで決めていただくと考えております。基本的にどの時点でも日帰り手術は可能です。快適な生活を維持するためにも矯正で0.7程度の視力を維持できるようにすることはお勧めしております。体力があるうちに手術を受けておくことが諸々のリスク回避にもなります。メリット、デメリットを踏まえ、快適な生活を維持できるように手術時期をご検討いただければと思います。

白内障手術の費用

保険適用レンズ(単焦点レンズ)使用の場合	
3 割負担	片眼 約 5 万円
2 割 または 1 割負担	片眼 約 1 万 8 千円
保険適応外レンズ(3 焦点レンズ他)使用の場合	
片眼 47 万円+税(乱視加入の場合は 片眼 52 万+税)	
※手術費用の他、術前・術後検査 及び 術後点眼処方についても保険適応外医療になります。	

手術のご相談、適応検査についてはご予約を！

☎ お問合せは ☎ 0276-86-9900 ☎